

みんなのふるさと 躍動薩摩川内



薩摩川内市長

いわきり ひでお
岩切 秀雄

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

私が市長に就任してから2年目となりました。昨年を振り返りますと10月に市制施行5周年を迎え、その記念式典と合併後初めての市民表彰式を挙げる事ができました。国政に目を向けますと8月の衆議院議員選挙において政権交代があり、「国と地方の在り方を根本的に見直したい」とされております。また、経済情勢は、幾分持ち直したとはいえ、引き続き厳しい雇用状況等が続いており、予断を許さない情勢であります。しかし、このような中でも様々な課題に対処できたことは、ひとえに市民の皆様方のご理解とご協力の賜物と感謝しております。

本年は来春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業を好機と捉

え、対外的に本市をシティセールスするとともに、甌島の観光を目玉としPRを大いに推進します。

また、安全で安心して暮らせる薩摩川内市を実現するために、4月から県下で初めてとなる中学修了までの子どもの医療費の完全無料化を実施します。

そのほか、南九州西回り自動車道の建設やゴールド集落支援、地域雇用経済対策などの重要課題を積極的に展開していきたいと考えております。

将来に向けた円滑な市政経営を進める意義は、「市民と市が一体となって努力し、素晴らしい

薩摩川内市を発展させるために、市やコミュニティの自治活動を高め、地域社会経済を活性化することにあると考えており、必ずや「みんなのふるさと躍動薩摩川内」が実現すると確信しておりますので、市民の皆様方より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、市民の皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のあいさついたします。



平成21年 主な出来事

いよいよ平成22年が始まりました。今年は寅年。威風堂々と大らかな気持ちで過ごせる年になるといいですね。さて、平成21年1月から12月までにあった主な出来事について抜粋して掲載します。昨年を振り返り、新しい気持ちで1年の目標などを立ててみましょう。

01 市制施行5周年 「交流と躍動 輝け未来へ 薩摩川内市」



10月10日、市制施行5周年を記念し「交流と躍動 輝け未来へ 薩摩川内市」をキャッチコピーに、記念式典を開催。

式典では、陸上自衛隊第8音楽隊による祝賀演奏のほか5周年を記念して制作された「薩摩川内市民歌」が作曲者である吉俣良氏の指揮のもと、地元合唱団により晴れやかに披露されました。

10月2日には、ふるさとのためにご尽力された方々の功績をたたえ、市民表彰式が行なわれ、各部門から、前市長の森卓朗氏ら4人の皆さんが受賞されました。



03 大規模な「あびき」発生！ 船舶や沿岸の建物に被害



2月24日から25日にかけて、上甌町瀬上地区の浦内湾で、大規模な副振動が発生。これは気圧の変化によって、海面が短時間に上下動する現象で、「あびき」とも呼ばれています。今回、最大で310cmの潮位の変動がみられ、漁船の転覆や車の浸水、住宅の床下浸水などの被害が発生しました。

02 川内原子力発電所 3号機増設申し入れ



1月8日、九州電力株式会社から、「川内原子力発電所3号機増設計画に係る環境影響評価準備書」の送付とともに、同増設に係る申し入れがありました。このうち、環境影響評価準備書に対しては、環境の保全の見地からの市長意見を6月に県知事に提出し、その後、10月には、県知事意見、環境大臣意見を受けた経済産業大臣から九州電力株式会社に対し、同準備書に対する勧告がなされました。